

項目	内容	課名
第2次那覇市教育振興基本計画の策定	第2次那覇市教育振興基本計画（平成28年度～平成32年度）を3月に策定した。	総務課
那覇市全小・中学校で小中一貫教育がスタート	義務教育9年間を修了するのにふさわしい「学力に育成」、「豊かな人間性や社会性の育成」、「中学校入学時の不安解消」をねらいとして小中一貫教育を平成26年度から順次導入し、平成28年4月より那覇市全小・中学校で実施となった。	学校教育課
子ども寄添支援員（スクールソーシャルワーカー：SSW）を全17中学校区に配置	平成28年4月より、貧困家庭（準要保護世帯等）で不登校等の児童生徒を支援するため、全17中学校区に子ども寄添支援員（スクールソーシャルワーカー：SSW）を18名配置した。子ども寄添支援員は、各小中学校や家庭訪問をして、不登校等の児童生徒の実態把握や情報収集を行い、支援の必要な子どもたちを関係機関に繋げ、小中学生の貧困問題対策に取り組む事業である。	教育相談課
自立支援教室（むぎほ学級）を開設	平成28年4月より、不登校などで将来的に生活困窮になる恐れのある児童生徒に対し、日中の教育的な居場所を確保するため、自立支援教室（むぎほ学級）を開設し、むぎほ学級支援員を5人配置した。様々な体験活動（調理実習、栽培、創作、奉仕活動等）を通して、学校や社会への適応促進及び将来の社会的自立・自律に繋げることを目的とする事業である。	教育相談課
那覇市津波避難ビル内で青少年交流推進事業を開始	平成28年5月14日より供用を開始した那覇市津波避難ビル（3階部分）の平常時の活用として、交流・居場所づくりをとおして青少年の健全育成を図ることを目的に、学習コーナーの提供、部屋の貸出等を行う事業を開始した。	生涯学習課
幼稚園から認定こども園への移行	大道幼稚園、識名幼稚園、若狭幼稚園、さつき幼稚園、銘苅幼稚園の5園が認定こども園へ移行した。	総務課
教育研究所移転	那覇市金城の保健センター2階から、大道小学校2階へ移転した。（10月17日）	教育研究所
「ひやみかち なほ ウォーク 2016」の開催	ウォーキングを通して、市民の健康への意識を醸成し、日常的な健康づくり活動を促進するため、「ひやみかち なほウォーク 2016」を平成28年11月13日（日）、沖縄セルラースタジアム那覇をスタート、沖縄セルラーパーク那覇をゴールとして開催した。今回は、コース（島尻まーい）を1つ追加、全部で8つのコースに多くの市民が参加し、ウォーキングを楽しんだ。 参加者：3,905人 島尻まーい（42.195km） 246人 御城上り（うぐしくぬぶい）（20km） 558人 今昔（なまんかし）マチグラーマーい（13km） 643人 うるくまーい（7.8km） 484人 マンガロープまーい（5.4km） 775人 大門（うぶじょう）まーい（7.8km） 489人 奥武山（おうのやま）まーい（3km） 674人 ノルディックウォーク体験コース（3km） 36人	市民スポーツ課
第1回全国公民館インターネット活用コンクール最優秀賞	全国公民館連合会主催 第1回全国公民館インターネット活用コンクールにて、若狭公民館が最優秀賞を受賞した。（1月8日）	公民館
大名小学校体育館の完成	大名小学校体育館は築37年を経過し、老朽化が顕著になったことから建替事業に着手し、今年の12月に完成した。施設概要としては、延べ面積1,250㎡、鉄筋コンクリート造2階建てで、バリアフリーに配慮された施設となっている。スポーツやレクレーションを通して、園児・児童が心身を健やかに発達させる教育施設としての役割のほか、身近な場所で健康や体力の維持増進に寄与する地域に開かれた体育館施設として、多くの市民に利活用されることが期待される。また、災害時には、地域住民の避難場所としての役割も果たす施設となる。	施設課